

ごあいさつ



平素より、呉信用金庫に対し、格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第97期（2021年度）の業務の状況を取りまとめましたので、ご高覧いただき、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

2021年度を振り返りますと、国内経済は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けて経済活動は制限され、個人消費も低迷するなど低調に推移しました。さらに年度後半には、2022年2月のロシアによるウクライナ侵攻の影響を受けた物価上昇に加え、米欧の金融政策正常化により海外金利が上昇しました。

当地域は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の制限に加えて、地場大手企業の撤退に向けた動きが始まるなど、厳しさを増している状況にあります。

こうした中、中期経営計画「『100周年、そしてその先へ』～地域の課題解決への挑戦～」の初年度にあたる2021年度は、「地域金融機関としてお客さまや地域の難局へ伴走して立ち向かい、活力ある地域社会の実現」「自己の成長とともに達成感を一層味わうことができる職場の実現」「100周年、さらにその先も安定した金庫経営の実現」を目指して業務運営に取り組んでまいりました。

法人・個人事業者のお客さまには、新型コロナウイルスや地場大手企業の撤退の影響を受けている方々へ引き続き迅速な金融支援を行うとともに、「呉・しまなみ魅力発信プロジェクト！～おいシーサイドR185～」を通じた販路拡大支援や有料職業紹介業務の取扱い開始による雇用確保の支援など、多様な本業支援に努めてまいりました。

個人のお客さまには、新型コロナウイルス感染症への対策として重要性が高まっている非対面取引の拡充を目的として、本部に専門部署を設置するとともに、Web完結融資商品のラインナップ増加や個人インターネットバンキングの機能拡大を図ってまいりました。また、西条支店を建替えし、全てローカウンターにするなど、利便性向上に取り組んでまいりました。

その結果、2021年度の業績は、貸出金は9期連続で増加し4,453億円、預金積金は5期連続で増加し8,052億円となり、当期純利益を8億円計上することができました。

なお、2021年度も新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、各種スポーツ大会の開催は断念せざるを得ませんでした。書初展や美術展などの文化・芸術活動の振興をはじめ、当金庫の推薦に基づき信金中央金庫による企業版ふるさと納税制度を活用した呉市への寄附を実現させるなど、幅広い社会貢献活動に取り組んでまいりました。

これからも、お客さまや地域とのリレーションを大切にし、お客さまに寄り添った「伴走型」の営業活動を経営の中心に据え、2025年9月に迎える創立100周年、そしてその先も地域社会の発展・繁栄に一層貢献できるよう、役職員一丸となって取り組んでまいります。

引き続きご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2022年7月

理事長

向井淳滋